

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	4 月 (2)	(内容項目を限定しない) 1 道徳が始まるよ	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1 年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲と態度を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのでしょう。 ①教科書 P4・5「道徳で学ぶ 20 のとびら」を見て、これまでの道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんなことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書 P6・7「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について理解する。 ③「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を使って、自分がどんなときに勇気や やる気が湧いてくるかについて話し合う。 ④教科書 P8・9「道徳 みちあんない」を見て、これから 1 年間の学びの見通しをもつ。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考え、1 年間の学びの見通しをもち、意欲的に学んでいこうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 3 年生のときの道徳科の学習を思い起こしながら、これからの道徳科の学習を想起し、期待を膨らませている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 道徳科の学習では、自分で考えるだけでなく、みんなで話し合うことで考えが広がったり深まったりすることを感じている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 何を学ぶか、どのように学ぶかを理解し、1 年間の学びの見通しをもって、道徳科を学んでいこうとしている。	
	4 月 (3)	【できることは自分で】 A (3) 節度、節制 2 目覚まし時計	自分で生活の時間を決めたのに、守り続けることができなかったリカの姿などを通して、自分でできることを自分でするために大切なことを考えさせ、節度のある生活をしようとする実践意欲を育てる。	★自分でできることを自分でするために大切なことは、何でしょう。 ①はじめに「読むときには」「話し合ったり、書いたりするときには」を読んで、それぞれの留意点を確認する。 P11-13 の吹き出しは、教材を読みながら確認していくことを伝える。 ②「目覚まし時計」を読み、リカはどんなことを考えて「わたしのきまり」を決めたのかを考え、話し合う。 ③涙がぼろりと流れてきたとき、リカはどんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ④気持ちのよい生活を送るため、何か自分でしていることはあるか、また、これから自分でしてみたいことはあるかを考え、発表する。 ▼保健の授業と関連させ、健康に過ごすために自分でできることについて考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分でできることは自分でやり、節度のある生活をする大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の生活を振り返り、自分は節度のある生活をしているだろうかと自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 節度のある生活を送るために必要な気持ちについて、節度ある生活を送るよさや、節度ある生活の難しさなど、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これまでの自分の生活を見つめ直し、節度ある生活を心がけようと思いを新たにしている。	体育科 健康教育
	4 月 (4)	【心を表す礼ぎ】 B (8) 礼儀 3 土曜日の学校	地域の人に昔遊びを教わりながら礼儀について感じ入る子どもたちの姿などを通して、礼儀正しくすることの大切さについて考えさせ、言葉遣いや振る舞いを正し、誰に対しても礼儀正しく接しようとする心情を育てる。	★礼ぎ正しくすることは、どうして大切なのでしょうか。 ①「礼儀正しい」とはどういうことを考え、発表する。 ②「土曜日の学校」を読み、友花さんが「ちょっと大人になった気がした」のはどうしてか、また、周太さんの悔しかった気持ちがふにやっとなるのはどうしてかを考え、発表する。 ③健さんは、内山さんにどのように質問し直したのかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P29 の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役扮演技をする際に活用する。 ④礼儀正しくすることはどうして大切なのかを考え、話し合う。 ▼本時に考えたことはどんな場面で生かせるかを考える。 ▼「考えるヒント」(道徳で使う言葉)を読み、発表や話し合いの場面で活用する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○言葉遣いや振る舞いを正し、誰に対しても礼儀正しく接することのよさを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 登場人物に自我関与して、自分事として礼儀正しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな礼儀正しさのありようを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 礼儀正しくすることの大切さや意味について考え、これらを自分の生活に生かそうとしている。	総合的な学習の時間 特別活動(学校行事) 社会参画に関する教育

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	5月 (2)	【思いやりとは】 B (6) 親切、思いやり 4 「思いやり」って	骨折した友達に手を貸そうとする「わたし」の姿などを通して、思いやりとはどんなものかについて考えさせ、相手の状況や気持ちを考え、親切な行為を進んで行おうとする判断力を育てる。	★「思いやり」とは、どんなものでしょう。 ①「思いやりのある人」とはどんな人かを考え、発表する。 ②「『思いやり』って」を読み、「わたし」がプリントを畳んだとき、なんだか悲しそうだった夏実を見て、「わたし」はどんなことを思ったかを想像し、発表する。 ③「わたし」はどんな思いで「てつだおうか？ それとも、自分でやりたい？」ときいたのかを考え、話し合う。 ④「思いやり」とはどんなものかを考え、話し合う。 ▼自分と違う立場の人がどんなふうを感じるのかを考えられる本を読む。 ▼教科書 P181 の「学びの道具箱」(マグネット対話)を適宜、活用する。 ⑤ 巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○相手の状況や気持ちに寄り添い、親切な行為をすることの大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身の「思いやり」に対するイメージを考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 相手の置かれている状況や意向によって「思いやり」の形が変容することを理解し、さまざまな「思いやり」の形を考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 「思いやり」とは何なのかを理解し、他者に「思いやり」をもって接することができるように、自分の生活に生かそうとしている。	図書館活用 共生 福祉に関する教育
	5月 (3)	【正直に行動するために】 A (2) 正直、誠実 5 「正直」五十円分	多かったおつりを返しに行った二人の姿などを通して、自分から正直に行動するために大切なことを考えさせ、正直であることのよさを感じ、明るい心で伸び伸びと過ごそうとする心情を育てる。	★自分から正直に行動するために大切なことは、何でしょう。 ①正直に行動できなかった経験を振り返り、出し合う。 ②「『正直』五十円分」を読み、おばちゃんから足りないおつりを返してもらったとき、たけしはどんな気持ちだったかを想像し、発表する。 ③たけしはどんなことを考えて 50 円を返しに行ったかを考え、話し合う。 ④二人はどんなことを話しながら夕焼けの道を帰ったと思うかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P29 の「えんじて考えよう」を読み、役割演技をする際に活用する。 ▼正直にできたときの気持ちを思い出してみる。 ⑤ 巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○正直であることのよさを感じ、明るい心で伸び伸びと過ごそうとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 正直にできなかった経験について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正直に行動することについて、自分を偽ることの苦しさや、伸び伸びと過ごせる心地よさの両面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分に正直であるためにどんな姿勢を大切にしていきたいかを考え、これからの自分に生かそうとしている。	図書館活用 消費者教育 法教育
	5月 (4)	【友だちとのよりよい関係とは】 B (9) 友情、信頼 6 絵はがきと切手	料金不足の絵はがきを送ってくれた友達に、それを伝えるかどうか悩むひろ子の姿などを通して、友達とのよりよい関わり方について考えさせ、互いに理解し、信頼し合おうとする判断力を育てる。	★友だちとのよりよい関係とは、どういうものでしょう。 ①友達の間違いに気づいたとき、自分はどのようにしているかを思い起こし、発表する。 ②「絵はがきと切手」を読み、母と兄から意見を聞いたひろ子が迷っているのはどうしてかを考え、発表する。 ③ひろ子が「やっぱり知らせよう。」と思ったのはどんな考えからかを想像し、話し合う。 ▼教科書 P180 の「学びの道具箱」(表)を適宜、活用する。 ④友達とよりよい関係を築くために大切なことはどんなことかを考え、話し合う。 ▼自分で考えた「友達とのよりよい関係」に近づけるよう意識することを確認する。 ⑤ 巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○友達と互いに理解し、信頼し合おうとすることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでの自分を振り返り、友達のよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の立場や友達の考えをもとに、友達に言いだしにくいことがあったときに、どう接するかについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達のことを理解し、友達のために思って行動するには、どんな心が必要かについて考えている。	国語科 消費者教育
	適宜	★心を通わそう★ 相手のことを思いやって声をかけてみよう B (6) 親切、思いやり 年間を通して、適宜、「相手のことを思いやって声をかけてみよう」を読み、「ぼかぼか言葉」をかけ合う活動を通して、思いやりをもって友達に接することについての意識をもつ。				

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動 (中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動 (▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	6月 (1)	【わたしの大切なクラス】 C (15) よりよい学校生活、 集団生活の充実 7 みんな、待っているよ	学校や院内学級のみんなからの 手紙を励みに手術に臨む「わたし」 の姿などを通して、クラスの よさを考えさせ、自分を支え てくれる人々と進んで関わり、 楽しいクラスをつくろうとする 実践意欲を育てる。	★クラスのよさは、何でしょう。 ①自分のクラスのよいところを振り返り、発表する。 ②「みんな、待っているよ」を読み、お母さんと院内学級に 登校したとき、「わたし」はどんな気持ちだったかを考え、 話し合う。 ③「わたし」はどんな思いで「早く院内学級に行くよ。そ して、早く退院して、四年三組に行くよ。」と言ったのか を想像し、話し合う。 ④自分もクラスのみんなに励まされたことがあるか、また、 そのときどんな気持ちになったかを思い出し、話し合う。 ▼自分のクラスのよさを、家の人に紹介する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分を支えてくれる人々と進んで関わり、楽しいクラスを つくることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のクラスについてどんな思いを抱いているかと、自分 を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 よりよいクラスとはどのようなクラスかを、友達の意見も 参考にしながら多面的・多角的に考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これまでの自分のクラスへの関わり方を見つめ直し、進ん で協力してよりよいクラスにしていこうと思いを新たにし ている。	特別活動 (学級活動) 福祉に関する教育
	6月 (2)	いじめをゆるさない心 【正しいと思うことを】 A (1) 善悪の判断、自律、 自由と責任 8 心のシーズン	よくないことをしている友達を 止めるかどうか悩む一馬の姿な どを通して、正しいと思うこと を行うにはどんな心が大切かを 考えさせ、正しいと判断したこ とは、自信をもって行おうとす る判断力を育てる。	▼友達一人一人を大切にすることはということについて、 「心のシーズン」と「学級会での出来事」を通して考えるこ とを確認する。 ★正しいと思うことを行うためには、どんな心が大切でし ょう。 ①正しいと思ったことができなかったことはないか、振り 返る。 ②「心のシーズン」を読み、春花に「一馬さんも、そう思 うでしょ。」と言われたとき、一馬の心のシーズンはどうし て「言わない」に傾いたのかを考え、発表する。 ③春花に「ないしょにしておいてよ。」と言われたとき、一馬の心 のシーズンは、一馬のどんな思いから「言う」に傾いたのか想 像し、話し合う。 ④正しいと思うことを実現するために大切なのはどんなこ とかを考え、話し合う。 ▼心のシーズンが現れたら本時の学びを思い出すことを確 認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○正しいと思うことを自信をもって行うことの大切さについ て考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで自分は、正しいと思うことを自信をもって行うこ とができていたか、振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正しいと思っていることを実行に移すことの難しさや大切 さについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 正しいと思ったことは自信をもって行い、正しくないと判 断したことは行わないようにしようと考えている。	いじめ問題 共生
	6月 (3)	【一人一人の考えを大切に】 B (10) 相互理解、寛容 9 学級会での出来事	違う意見が出せず、一方的にお 楽しみ集会の内容が決まりそう な学級会の様子などを通して、 話し合いにはどんな気持ちが大切 かを考えさせ、相手のことを 理解し、互いの考えや意見を受 け止め合おうとする心情を育て る。	★みんなで話し合いをするときには、どんな気持ちが必要 なのでしょう。 ①いろいろな意見があるときはどうすればいいかを考え、 出し合う。 ②「学級会での出来事」を読み、あずさはどんな思いで「ド ッジボール集会でいいです。」と言ったのかを考え、発表 する。 ③「歌の集会のほうがいいな」と思っていたさとみが、言 いだせなくなってしまったのはどうしてかを考え、話し合 う。 ④みんなで話し合いをするときには、どんな気持ちが大切 なのかを考え、話し合う。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ) を適宜、活用する。 ▼教科書 P49 のコラム「いじめを見つけたら」を読み、友 達との関わりの中で、自分にできることは何かを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○相手のことを理解し、互いの考えや意見を受け止め合うこ との大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分とは異なる意見をもつ人に対して、自分はどんなふう に振る舞っているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場や言動から、自分の考えを伝え るとともに、相手を理解しようとするものの難しさや大切 さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 いろいろな考えや立場の人とよりよい関係を築いていくた めに、どんなことを心がけていこうかと考えている。	国語科 特別活動 (学級活動) いじめ問題 共生

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的活动は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	適宜	★コラム★ 〈いじめをゆるさない心〉 いじめを見つけたら A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任／B (10) 相互理解、寛容				いじめ問題
	6月 (4)	【大切な命】 D (18) 生命の尊さ 10 生きているしるし	自分の生まれたときのことを父親から聞き、改めて妹の泣く様子を見つめる「ちえ子」の姿などを通して、命の大切さについて考えさせ、一つしかない尊い命を大切にしていこうとする心情を育てる。	★命は、なぜ大切なのでしょう。 ①命の大切さについて考えたことがあるかを思い出し、発表する。 ②「生きているしるし」を読み、「わたしと全然にでないー。」とつぶやいたとき、ちえ子はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③お父さんの話を聞いて、ちえ子はどんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④私たち一人一人の命はなぜ大切なのかを考え、話し合う。 ▼自分の命が守られているように、自分にも守っていききたい命があるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○一つしかない尊い命を大切にすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 命の大切さについて、自分がどのような考えをもっていかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、多くの人から大切にされている命について、さまざまな角度から捉えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 多くの人々に支えられている命を大切にしていこうと考えている。	体育科
	適宜	★感じよう いのち★ おなかに赤ちゃんがいて、どんな感じかな。 D (18) 生命の尊さ おなかに赤ちゃんがいて、どんな感じかを実感し、生命を大切にしようとする気持ちをもつ。				いじめ問題
	7月 (1)	自然と共に 【自然の大切さ】 D (19) 自然愛護 11 いのちをつなぐ岬	ウミガメの保護に取り組む人々や観察に励む子どもたちの姿などを通して、自然を守るために大切な心を考えさせ、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	▼自然を大切にすることについて、「いのちをつなぐ岬」と「このままにしていたら」を通して考えることを確認する。 ★自然を守るために大切なのは、どんな心でしょう。 ①自分たちの周りにはどんな自然があるかを思い起こし、出し合う。 ②「いのちをつなぐ岬」を読み、いちばん心に残ったのはどんなところかを考え、理由と一っしょに発表する。 ③御前崎の大人や子どもたちがウミガメを大切にしているのは、どんな思いからかを考え、話し合う。 ④自然を大切にしていくために自分にどんなことができるかを考え、発表する。 ▼ウミガメについて書かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自然やそこに生きる動植物を大切にしていこうとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにはどんな自然があるかを振り返り、自然に対して自分はどんな意識をもっているかを考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 文章を読んだり、写真を見たりして、自然に対するさまざまな関わり方について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自然を大切に、環境を守るために、自分にはどんなことができるかを考えている。	総合的な学習の時間 図書館活用 共生 環境教育
	7月 (2)	【みんなの場所で】 C (11) 規則の尊重 12 このままにしていたら	遊びに行った川にレジ袋を放置してしまった「ぼく」の姿などを通して、みんなで利用する場所で気をつけなければならないことを考えさせ、社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする判断力を育てる。	★みんなの場所で、気をつけなければいけないのは、どんなことでしょう。 ①自分の身近にある「みんなの場所」とはどんなところかを思い起こし、発表する。 ②「このままにしていたら」を読み、レジ袋が飛んでしまったとき、「ぼく」はどうして「まあ、いいや。」と思ったのかを考え、発表する。 ③どんどん大きくなっていくような立て札の文字を見たとき、「ぼく」はどんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ④みんなの場所で気をつけなければいけないのはどんなことかを考え、話し合う。 ▼教科書 P64・65 のコラム「ごみやしげんについて考えよう」を読み、限りある資源について考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにある公共の場所での自分の振る舞いについて振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 公共の場所できまりを守ることの大切さや、それができなかったときに抱く思いなど、さまざまな面から考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 公共の場所でのきまりをきちんと守るためにはどんな気持ちが必要かを考え、自分の生活に生かそうとしている。	共生 環境教育 法教育
	適宜	★コラム★ 〈自然と共に〉 ごみやしげんについて考えよう A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任／C (11) 規則の尊重／D (19) 自然愛護				共生 環境教育 法教育

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
		○「学習のまとめ」を振り返った評価(4～7月) ここまで学んだ、【A(3) 節度、節制】【B(8) 礼儀】【B(6) 親切、思いやり】【A(2) 正直、誠実】【B(9) 友情、信頼】【C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【B(10) 相互理解、寛容】【D(18) 生命の尊さ】【D(19) 自然愛護】【C(11) 規則の尊重】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。				
人や社会に目を向けるって？	適宜	★「考える」じゅんびたいそう★ 話し合いながら考えを深めていくことが上手になるように、教科書P67の「進め方」に即して、テーマを決めて話し合い、これからの学習に生かす。				
	9月 (1)	【自分の持ちようを見つめて】 A(4) 個性の伸長 13 みんな同じだったら	マップを使って自分の特徴を書き出し、互いのマップにそれぞれのいいところを加える活動などを通して、自分の特徴を多面的に見つめさせ、長所をさらに伸ばしていこうとする心情を育てる。	★自分の持ちようを、見つめましょう。 ①自分とみんなは、どこが同じでどこが違うのか考える。 ②「みんな同じだったら」を読み、「みんな同じ」だったらどう思うか、また、どうしてそう思ったかを考え、出し合う。 ③自分の特徴とは何かを、マップを使った活動を通して考える。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分のもつ個性を大切にすることについて考えを深めている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のよいところを見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の得意なことと苦手なこと、友達から見た自分のよさなど、自分の特徴についてさまざまな見方で考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分を輝かせるために、自分らしさをどのように生かしていこうかと考えている。	共生
	9月 (2)	【よく考えて】 A(3) 節度、節制 14 「まあ、いいか。」	行き先も告げずに遠くへ出かけたり、遅くまで遊んだりした自分の行動を振り返るよしきの姿などを通して、「まあ、いいか。」に負けない心について考えさせ、安全に気をつけ、よく考えて行動しようとする判断力を育てる。	★「まあ、いいか。」に負けない心とは、どんな心でしょう。 ①「まあ、いいか。」と思ってしまうことはあるかを考え、発表する。 ②「『まあ、いいか。』」を読み、よしきが三つの場面で、どうして「まあ、いいか。」と思ったのかを考え、発表する。 ③その夜、よしきはどんなことを考えたかを想像して書き、発表する。 ④「まあ、いいか。」という気持ちに負けないためにはどんな心が大切なのかを考え、話し合う。 ▼身の回りの安全について、どんなことに気をつけているかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○安全に気をつけ、よく考えて行動しようとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 節度をわきまえず、自分自身に甘くなってしまうていないかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 節度のない行動を取ってしまうようになる場面や、自分に対して甘くなってしまう状況は、日常の中にたくさんあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の欲に負けずに節度のある行動を取るために、どんな心を大切にしていこうかと考えている。	安全教育
	9月 (3)	【身近な人への感しやの思い】 B(7) 感謝 15 なみえさんへ	なみえさんに対する感謝の手紙を書く「わたしたち」の姿などを通して、自分たちを支えてくれている人たちの存在について考えさせ、その人たちに尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする実践意欲を育てる。	★自分たちを支えてくれているのは、どのような人たちでしょう。 ①「ありがとう。」と言いたい人は誰かを考え、発表する。 ②「なみえさんへ」を読み、なみえさんはどんな思いでお手伝いに来ていたのか考え、発表する。 ③クラスみんながなみえさんに書いたカードには、どんな思いが込められていたかを想像し、出し合う。 ④自分たちの地域にも自分を支えてくれる人はいるか、また、その人にどんな気持ちを表したいか考え、話し合う。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ▼支えてくれている人にカードを書く。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○日々の生活を支えてくれている人たちの存在に気づき、尊敬と感謝の気持ちを伝えることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 日頃、自分が地域の人に対してどのような思いを抱いているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 感謝の気持ちには、対象となる人や、その人が行ってくれたこと、行った意義などによって、多様な思いがあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の生活を支えてくれる人たちの思いを考え、尊敬と感謝の念をもって接していこうと考えている。	国語科 理科 環境教育 社会参画に関する教育

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	9月 (4)	じょうほうと向き合う 【分かり合うために】 B (10) 相互理解、寛容 16 つまらなかった	何気ない言葉を巡って擦れ違う二人の姿などを通して、互いにわかり合うのに大切なことを考えさせ、自分の思いを伝えるとともに、相手のことを理解し、信頼しようとする心情を育てる。	▼情報との向き合い方について、「つまらなかった」を通して考えることを確認する。 ★おたがい分かり合うために大切なことは、何でしょう。 ①相手の気持ちがわからなくなったことがあるかを思い出し、発表する。 ②「つまらなかった」を読み、めぐみに「つまらなかった。」と答えた信二は、何をつまらないと思ったのかを考え、発表する。 ③またも黙り込んださとしはどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ④一言も口をきかない信二とさとしに足りなかったのはどんなことかを考え、話し合う。 ▼教科書 P86・87 のコラム「インターネット上のやり取り」を読み、気持ちや考えをきちんと伝えるためにはどんなことに気をつければよいのかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分の思いを伝えるとともに、相手のことを理解し、信頼しようとする大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 日頃、友達などの身の回りの人ときちんとわかり合っているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 なぜ相手とわかり合うことができなくなってしまうのか、さまざまな状況を想定して考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 互いに理解し合う、よりよい関係を築くために、自分はどうやって他者と関わっていこうかと考えている。	図書館活用 共生 情報モラル
	適宜	★コラム★ 〈じょうほうと向き合う〉 インターネット上のやり取り B (9) 友情、信頼／B (10) 相互理解、寛容				共生 情報モラル
	適宜	★学びのじゅんぴ★ あなたの学校の校歌を調べてみよう 次の「わたしたちの校歌」の学習の準備として、自分の学校の校歌の歌詞をノートなどに書き写しておく。				
	10月 (1)	【楽しい学校に】 C (15) よりよい学校生活、 集団生活の充実 17 わたしたちの校歌	校歌の調べ学習の実例などを通して、自分たちの校歌に込められた思いについて考えさせ、学校への愛着を深め、学校やクラスを大事にしていこうとする実践意欲を育てる。	★自分たちの校歌には、どんな思いがこめられているでしょう。 ①自分たちの学校について知っていることを思い出し、発表する。 ②「わたしたちの校歌」を読み、自分たちの校歌の気に入っているところを考え、どうして気に入っているのかもいっしょに発表する。 ③校歌にはどんな思いが込められているのかを考え、話し合う。 ▼本時に学んだことを思い浮かべながら、校歌を歌う。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分の学校への愛着を深め、学校やクラスを大切にしていこうすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 学校やクラスに対する自分の関わり方を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えも聞きながら、校歌に込められたさまざまな思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これまでの学校やクラスへの関わり方を振り返り、よりよい学校やクラスをつくるために、自分にはどんなことができるだろうかと考えている。	音楽科 総合的な学習の時間 図書館活用 伝統文化教育
	10月 (2)	【公平な見方で】 C (12) 公正、公平、社会正義 18 決めつけてないかな	さまざまな場面での何気ない言動の中に「決めつけていないか。」と疑問を感じる「わたし」の姿などを通して、決めつけないために大切なことを考えさせ、誰に対しても公正、公平に接しようとする判断力を育てる。	★何かを決めつけないためには、どんなことを大切にするといいでしょう。 ①何かを決めつけられて、「いやだな。」と思ったことはないか思い起こす。 ②「①」から「③」の場面絵を見て、どこが決めつけなのかを考える。 ③決めつけることは、どうしてよくないのかを考えて、話し合う。 ④決めつけをしないためには、どんなことを考えればよいのかを話し合う。 ▼何かを決めつけそうになったら、立ち止まって考えてみることを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○誰に対しても公正、公平な態度で接することの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで自分は、誰に対しても公正、公平な態度で接してきたかと、振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 相手に公平に接することの難しさ、できなかったときに抱く思い、周囲に与える影響などのさまざまな面から、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誰に対しても公正、公平な態度で接するために、自分はいくらからどんなことを大切にしていこうかと考えている。	いじめ問題 共生

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	適宜	★なんだろう なんだろう★ 「友だち」って、なんだろう。 関連する内容項目 B (9) 友情、信頼 A (4) 個性の伸長／B (10) 相互理解、寛容 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「友達」とは何なのか、考えてみる。				
	○「前期」を振り返った評価(4～10月2週目) ここまで学んだ、【A (3) 節度、節制】【B (8) 礼儀】【B (6) 親切、思いやり】【A (2) 正直、誠実】【B (9) 友情、信頼】【C (15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【B (10) 相互理解、寛容】【D (18) 生命の尊さ】【D (19) 自然愛護】【C (11) 規則の尊重】【A (4) 個性の伸長】【A (3) 節度、節制】【B (7) 感謝】【B (10) 相互理解、寛容】【C (15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【C (12) 公正、公平、社会正義】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。					
	適宜	★学びのじゅんぴ★ C (16) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 次の「祭りだいこ」の学習の準備として、自分の住む地域にはどのような祭りやイベントがあるか、また、その祭りやイベントにどのように参加しているか、教科書 P98 の空欄に書いておく。				
	10月(3)	【地いきを大切に】 C (16) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 19 祭りだいこ	村の祭りで初めておはやしに参加する良子の姿などを通して、地域の文化を大切にする意義を考えさせ、地域や国の伝統や文化に親しみをもち、大切にしていこうとする心情を育てる。	★地いきの文化を大切にすることは、どういうことでしょう。 ①自分が住んでいる地域や日本の「いいな。」と思うところはどこかを発表する。 ②「祭りだいこ」を読み、おはやしをするかどうか、すぐには決めることができなかった良子はどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ③良子が「かつこうがいいとか、父にたのまれたからやるんだと考えていた自分が、はずかしかった」のはどうしてかを考え、発表する。 ④良子が「いつか妹といっしょにおはやしをしたい」と思ったのは、どんな思いからかを考え、話し合う。 ▼祭りの他に、日本で大切にされてきたものに何があるかを考える。 ▼教科書 P182 の「日本に伝わる『祭り』」を見る。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○我が国や郷土の伝統や文化を大切にしようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の地域のどんなところが好きか、また、どんな思いをもっているかを見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 我が国や地域を大切にすることはどういうことか、友達の考えを聞きながら、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の地域を思う気持ちを振り返り、自分にはどんなことができるだろうかと考えている。	社会科 社会参画に関する教育 伝統文化教育
10月(4)	【気持ちよく働く】 C (13) 勤労、公共の精神 20 琵琶湖のごみ拾い	琵琶湖のごみ拾いをするおじいさんの話から、自分もみんなとごみ拾いを始めたすみ太の姿などを通して、気持ちよく働くことのよさを考えさせ、進んでみんなのために働くこととする心情を育てる。	★気持ちよく働くことのよさとは、何でしょう。 ①みんなのために働いたことはあるかを思い起こし、発表する。 ②「琵琶湖のごみ拾い」を読み、ごみを拾うことを「いやじゃないよ。」と言うおじいさんの言葉にびっくりしたすみ太は、どんなことを思っていたのかを考え、発表する。 ③すみ太やみんなは、ごみを拾って、どうして気持ちよくなったのかを考え、話し合う。 ▼教科書 P107 の「考えるヒント」(図を使って考えよう)、教科書 P180 の「学びの道具箱」(くらげチャート)を適宜、活用する。 ④自分も何かの仕事をして気持ちよいと思ったことはあるかを振り返り、発表する。 ▼校内の美化活動や地域の清掃活動に参加することを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○働くことのよさを感じ、進んでみんなのために働こうとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の仕事をするときに、どんな気持ちで取り組んでいるかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 気持ちよく働くことのよさについて、友達の意見を聞いて、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからどんな気持ちで仕事に臨んでいけばよいのかと考えている。	特別活動(学校行事) 共生 環境教育 社会参画に関する教育	

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	11月 (1)	【正しいことを行うために】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 2 1 スーパーモンスターカード	万引きをしようとしている友人を止める「ぼく」の姿などを通して、正しいことを行うために大切なことを考えさせ、正しいと思ったときには自信をもって行おうとする判断力を育てる。	★正しいことを行うために大切なことは、何でしょう。 ①正しいと考えたことをしてよかったと思ったことはあるかを振り返り、出し合う。 ②「スーパーモンスターカード」を読み、カードを取ることは「してはいけないことだ。」と思っていたのに、「ぼく」は、どうして大地に何も言えなかったのかを考え、発表する。 ③「大地！」と声をかけたとき、「ぼく」はどんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ④しょんぼりしている大地に、この後「ぼく」は何と声をかけたと思うかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P29 の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ▼正しいことを言うのが難しいときはどうすればよいのかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○正しいと思ったときには自信をもって行おうとするこの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、正しくないと思っていることを見過ぎてしまっていないかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正しくないと判断したことをしないことや、正しくないと考えられることをしている人を止めることの大切さや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 正しくないと考えられる行動を取っている人に出会ったら、自分はどのような態度で接しようかと考えている。	消費者教育 法教育
	11月 (2)	【みんなが気持ちよく】 C (11) 規則の尊重 2 2 雨のバスでいりゅう所で	人より先にバスに乗ろうとしたよし子が、自分の行為を見つめる姿などを通して、みんなが気持ちよく過ごすために大切なことを考えさせ、社会のマナーやきまりの意義を理解し、それを守ろうとする実践意欲を育てる。	★みんなが気持ちよく過ごすためには、どんなことが大切なのでしょう。 ①順番を待って並ぶのはどんなときかを思い起こし、発表する。 ②「雨のバスでいりゅう所で」を読み、お母さんに並んでいた所まで連れていかれたとき、よし子はどう思ったかを想像し、発表する。 ③お母さんの横顔を見ながら、よし子はどんなことを考えていたかを想像し、話し合う。 ④みんなが気持ちよく過ごすためには、どんなことが大切なのかを考え、発表する。 ▼約束やきまりじゃないのに、みんなが気をつけていることがあるのかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○社会のマナーやきまりを守ることの意義を考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで自分は、マナーやきまりを守ることについて、どんなふうに考えてきたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 マナーやきまりを守ることの意義について、多様な感じ方、考え方を基に自分や他者、社会に関わることとして、多面的・多角的に考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 みんなが気持ちよく過ごすために、これからどんなことを大切にしていこうかと考えている。	法教育
	11月 (3)	【友だちを大切に】 B (9) 友情、信頼 2 3 泣いた赤おに	青鬼を失って初めてその友情に気づき、泣いて悲しむ赤鬼の姿などを通して、友達を大切にすることについて考えさせ、友達と互いに理解し合い、信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。	★友だちを大切にすることは、どういうことでしょう。 ①自分にとって友達とはどんな人なのかを考え、発表する。 ②「泣いた赤おに」を読み、人間の友達ができたとき、赤おにはどんな気持ちだったか考え、発表する。 ③赤おにはしくしくと泣きながら、どんなことを思っていたのかを想像し、話し合う。 ④友達を大切にすることはどういうことかを考え、話し合う。 ▼これから友達とどんな関係でいたいのかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○友達を理解し、信頼し合い、助け合うことの大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は友達をどのようなものと考え、どのように接してきたかと振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、友達と互いに理解し合い、よりよい関係を築くことについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからよりよい友情を築いていくために、どんなことを大切にすればよいかと考えている。	図書館活用 共生

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動 (中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動 (▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	11月 (4)	【命の不思議さ】 D (18) 生命の尊さ 2 4 生き物と機械	生き物と機械の違いを考えることなどを通して、命とはどのようなものなのかを考えさせ、生命の尊さを感じ、大切にしようとする心情を育てる。	★命とは、どんなものでしょう。 ①「生きているってすごいな。」と思ったのはどんなときかを考え、発表する。 ②「生き物と機械」を読み、本物の犬とロボットの犬の違いはどこかを考えたことを発表する。 ③生き物の大切さや不思議さとは何かについて考え、発表する。 ④命とはどんなものだと思うかについて話し合う。 ▼「生きているしるし」で考えたことを思い出す。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○生命の尊さを感じ、大切にしようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は、命についてどんな考えをもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 生命の特徴について、有限性や唯一性、連続性など、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 生きていることの不思議さやかけがえのなさを意識して、命を大切にしながら生きていこうと考えている。	理科 共生
	12月 (1)	【目標に向かって】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 2 5 年賀状に書いたゆめ——奥原希望	新たな目標に向かい、世界で挑戦し続ける奥原希望選手の姿などを通して、夢や目標をもって進むことについて考えさせ、目標に向かって強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする実践意欲を育てる。	★ゆめや目標をもち、進んでいくことについて考えましょう。 ①自分は今、どんな夢や目標をもっているかを考え、発表する。 ②「年賀状に書いたゆめ——奥原希望」を読み、奥原選手が年賀状の目標を変えなかったのはどうしてかを考え、出し合う。 ③奥原選手の挑戦がまだまだ続いていくのは、どんな思いがあるからかを考え、話し合う。 ④自分も何かを達成したいと目標をもったことはあるかを振り返り、その目標にどのように向き合ったか、またはどのように向き合っていきたいかを考え、発表する。 ▼夢や目標に向かってがんばった人について書かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分で決めた目標を、途中で諦めずにやり抜こうとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで、自分で立てた目標にどのような姿勢で臨んでいたろうかと振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 目標の達成を目ざして粘り強くやり抜くために大切な気持ちについて、友達の意見を聞いて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これまでの目標に向かう姿勢を省みて、最後まで諦めずに努力し続けようと思い新たにしている。	体育科 図書館活用 キャリア教育
	12月 (2)	共に生きる 【分けへだてのない行動】 C (12) 公正、公平、社会正義 2 6 ちょっと待ってよ	友達に対する京一の接し方に疑問を感じた正広の思いなどを通して、誰に対しても分け隔てなく行動するために大切なことを考えさせ、公正、公平な態度で接しようとする判断力を育てる。	▼「共に生きる」ために大切なことについて、「ちょっと待ってよ」と「思いやりのかたち」を通して考えることを確認する。 ★だれに対しても、分けへだてなく行動するために大切なことは、何でしょう。 ①分け隔てのない行動とはどんな行動なのかを考え、発表する。 ②「ちょっと待ってよ」を読み、「①」の場面で、京一に「なんだよ。しっかりしろよ。」と言われた静花はどんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③「①」の場面で、ため息をついた正広はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ④「②」の場面で、しょんぼりしてすに座った友治はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ⑤「②」の場面で、正広は「みんな、ちょっと待ってよ。」と声を上げた後、どんなことを言ったのかを考え、発表する。 ⑥「①」「②」を通して、京一が誰に対しても分け隔てなく行動するために大切なのはどんな考えかを話し合う。 ⑦巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○誰に対しても公正、公平な態度で接しようとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 誰に対しても公正、公平に接しているだろうかと自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 誰に対しても分け隔てなく接するためにはどのような心が必要か、友達の意見を聞いて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 よりよい集団や社会をつくっていくために、誰に対しても公正、公平に接していこうと思い新たにしている。	いじめ問題 共生 福祉に関する教育

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
人や社会に目を向けるって？	12月(3)	【さまざまな思いやり】 B(6) 親切、思いやり 27 思いやりのかたち	点字ブロックの考案者を知り、視覚障害者を助ける「わたし」の姿などを通して、人を思いやるとはどういうことかを考えさせ、相手のことを考え、自分にできる親切をしようとする実践意欲を育てる。	★人を思いやるとは、どういうことでしょう。 ①点字ブロックを知っているかを確認する。 ②「思いやりのかたち」を読み、「わたし」は三宅さんのどんなところを「すごいなあ。」と思ったのかを想像し、出し合う。 ③「わたし」の「これがわたしの思いやりのかたちなんだ。」という言葉にはどんな思いが籠もっているかを考え、話し合う。 ④自分が今までにしてもらってうれしかった「思いやりのかたち」を思い起こし、発表する。 ▼教科書P140・141のコラム「見えないしょうがいにくい気づくこと」を読み、「共に生きる」ことについて、さらに考えを深める。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○相手のことを考え、親切な行為を自ら進んでしようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分はこれまで、思いやりの心をもって人に接してきただろうか振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の意見を聞いて、思いやりのかたちにはさまざまなものがあると考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これまでの自分の他者への接し方を見つめ直し、相手のことを考え、親切な行為を進んで行うようにしようと思いを新たにしている。	社会科 共生 福祉に関する教育	
	適宜	★コラム★ 〈共に生きる〉 見えないしょうがいにくい気づくこと B(6) 親切、思いやり／C(12) 公正、公平、社会正義					社会科 図書館活用 共生 福祉に関する教育
	○「学習のまとめ」を振り返った評価(9～12月) ここまでで学んだ、【A(4) 個性の伸長】【A(3) 節度、節制】【B(7) 感謝】【B(10) 相互理解、寛容】【C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【C(12) 公正、公平、社会正義】【C(16) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C(13) 勤労、公共の精神】【A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C(11) 規則の尊重】【B(9) 友情、信頼】【D(18) 生命の尊さ】【A(5) 希望と勇気、努力と強い意志】【C(12) 公正、公平、社会正義】【B(6) 親切、思いやり】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
自分をのばすって？	1月(2)	【人の心の美しさ】 D(20) 感動、畏敬の念 28 花さき山	けなげな優しい心が美しい花を咲かせるという「花さき山」の物語などを通して、美しい心について考えさせ、美しいものや気高いものに触れたときの素直な感動を大切にしようとする心情を育てる。	★美しい心について、考えましょう。 ①「花さき山」と聞いて、どんな山だと思うかを発表する。 ②「花さき山」を読み、「おっかあ、おらはいらねえから、そよさ買ってやれ。」と言ったとき、あやはどんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③「この赤い花は、どんな祭り着の花もようよりも、きれいだべ。」と言われて、あやはどんなことを思ったかを想像し、発表する。 ④この話を読んで、どんなところに心を動かされたかを話し合う。 ▼アイヌの昔話の本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○美しいものや気高いものなどに接したときの素直な感動を大切にしようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 人の心の美しさや気高さに対して、自分はどんな思いを抱くのだろうかと考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 美しさや気高さを感ずる対象はさまざまで、感じ方も人それぞれであることを捉えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 美しいもの、清らかなもの、気高いものに接したときに素直に感動する心を大切にしようと考えている。	国語科 図書館活用	

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的活动は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分をのばすって？	1月 (3)	【すなおになって】 A (2) 正直、誠実 2 9 梨の実—— アンリ=ファール	隣の家の梨の実をこっそり取ってしまったアンリの姿などを通して、過ちを素直に改めることの大切さについて考えさせ、正直に明るい心で生活しようとする実践意欲を育てる。	★ましがいをすなおに改めることは、どうして大切なのでしょう。 ①悪いことをしてしまって言いだせなかったとき、どんな気持ちになるかを思い起こし、出し合う。 ②「梨の実——アンリ=ファール」を読み、アンリが梨の実がいっぱい取れたことを喜べなかったのはどうしてかを考え、発表する。 ③アンリが、この日のことを一生忘れることができなかったのは、どんな思いがあったからなのかを考え、話し合う。 ④間違いを素直に改めたことはあるか、また、そのとき、どんな気持ちになったか思い起こし、発表する。 ▼正直でいるのがいいとわかっていてもできないのはどんなときか思い起こす。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○過ちを正直に認めて改め、明るい心で生活しようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 過ちや失敗をしてしまったときに、うそをついたりごまかしたりせずに、正直に伝えてきただろうかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の過ちを素直に認め、改めようとするときに大切な気持ちについて、多面的・多角的に考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 今後、自分が過ちを犯してしまったときにもつべき姿勢について、考えを新たにしている。	消費者教育 法教育
	1月 (4)	【よいところをのばして】 A (4) 個性の伸長 3 0 空からの目線	好きなことを続けて得意なことに変え、ドローンパイロットになった小澤さんの姿などを通して、自分のよさを伸ばすことのよさを考えさせ、自分の特徴に気づき、長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。	★自分のよさをのばしていくと、どんないいことがあるでしょう。 ①「みんな同じだったら」で好きなことや得意なことについて考えたことを思い出す。 ②小澤さんの話を読み、どんなことを思ったかを考え、出し合う。 ③小澤さんのように好きなことを続けることにはどんなよさがあるかを考え、話し合う。 ④自分らしさはどんなところか、また、それをどのように生かしていきたいと思うかを考え、発表する。 ▼自分らしく生きることを書いた絵本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分の特徴に気づき、長所を伸ばしていくことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のよいところは、どんなところかと自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 長所を伸ばすことのよさについて、さまざまな観点から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の長所を生かしたり伸ばしたりしながら、どんな生き方をしていこうかと考えている。	図画工作科 図書館活用 キャリア教育
	2月 (1)	【世界の人々に親しむ】 C (17) 国際理解、国際親善 3 1 わたしの大切なもの	世界の子供たちの「大切なもの」を紹介した写真や文などを通して、世界の人々や文化などを知り、他国の人々や文化に親しみ、関心をもって触れ合おうとする実践意欲を育てる。	★「大切なもの」から、世界を知りましょう。 ①世界の人々や文化について知っていることを出し合う。 ②「わたしの大切なもの」を読み、自分の「大切なもの」は何か、それはどうしてかを考え、発表する。 ③世界の子供たちの「大切なもの」と、自分の「大切なもの」を比べて考えたことについて話し合う。 ▼世界の人々やその暮らしについて、もっと知りたいことはないかと考える。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○他国の人々や文化に親しみ、関心をもつことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 他国の人々や文化に対して、どのような関心をもっているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「大切なもの」について、自分と教材に登場する他国の子ども、自分と友達とを比べ、違いや共通点などを見いだしている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 世界の人々や文化についての関心を高め、これからどんな関係を築いていきたいかを考えている。	総合的な学習の時間 共生 国際理解教育

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分をのばすって？	2月 (2)	【思いでつながる命】 D (18) 生命の尊さ 3 2 おじいちゃんのごくらく ごくらく	亡き祖父の口癖と祖父との思い出を大事に過ごす「ぼく」の姿などを通して、生命の尊さについて考えさせ、「死」を理解し、与えられた生命を大切に生きようとする心情を育てる。	★命のとうとさについて、考えましょう。 ①身近な人の命について考えたことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「おじいちゃんのごくらく ごくらく」を読み、おじいちゃんとお別れの日、「ぼく」はどんなことを思っていたのかを考え、発表する。 ③おじいちゃんのまねをして、「ごくらく ごくらく。」と言うとき、「ぼく」はどうして幸せな気持ちになれるのかを考え、話し合う。 ▼命や生きていることのすばらしさについて考えられる本を読む。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○命の有限性を知り、与えられた命を大切に生きようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分はこれまで、命について、どのようなものと考えてきたのだろうか自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 命を大切に尊重するのはどうしてか、友達の話を聞いて、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 命の尊さを感じ、今ある命を大切にしながら一生懸命に生きていこうと考えている。	図書館活用 福祉に関する教育
	2月 (3)	【家族を思つて】 C (14) 家族愛、家庭生活の充実 3 3 ブラッドレーのせい求書	請求書を母に渡したブラッドレーが、母からの請求書を見て涙を流す姿などを通して、家族の一員としての自分について考えさせ、家族みんなで協力し合つて楽しい家庭をつくらうとする実践意欲を育てる。	★家族の一員としての自分を、見つめ直しましょう。 ①「ブラッドレーのせい求書」を読み、ブラッドレーはどんなことを考えて請求書を書いたのかを想像し、発表する。 ②お母さんの請求書を見て、ブラッドレーはどんなことを思ったのかを考え、話し合う。 ③家族の一員として、自分にできることはどんなことか考え、発表する。 ▼家の人にしてもらっていることを思い浮かべて、家の人に手紙を書く。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○家族の一員として、家族と協力し合い、楽しい家庭をつくることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は普段、家族にどのように接しているかや、家庭でどのように振る舞っているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の思いを「感謝」、「協力」、「信頼」、「勤労」などのさまざまな道徳的価値の面から捉え直している。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 協力し合つて楽しい家庭をつくるために、自分には何ができるのだろうかと考えている。	国語科
	3月 (1)	【みんなのために働く】 C (13) 勤労、公共の精神 3 4 神戸のふっこうは、ぼくらの手で	阪神・淡路大震災のとき、避難所で進んでできることに取り組んだ「ぼく」たちの姿などを通して、みんなのために働くことの大切さについて考えさせ、集団の一員としてできることを見つけ、実行しようとする心情を育てる。	★みんなのために働くことの大切さとは、何でしょう。 ①周りの人のために一生懸命働いたことがあるかを振り返り、発表する。 ②「神戸のふっこうは、ぼくらの手で」を読み、次々と大山先生を手伝う大人たちを見た「ぼく」は、どんなことを思ったかを想像し、発表する。 ③「ぼく」はどんな思いで熊の絵が描いてある本を探したのかを考え、話し合う。 ④みんなのために働くことの大切さにはどんなことがあるのかを考え、話し合う。 ▼みんなのために働いた経験を思い出したり、これから自分にできることを考えたりする。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○みんなのために進んで働くことのよさを感じたときの思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、自分はどんな思いで働いているのだろうかと考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 働くことの大切さや意義について、自分にとって、他者にとって、集団にとってなどのさまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 他者や集団のことを考えて行動することの難しさも踏まえ、家族やクラス、地域などの集団の一員として、それぞれの集団の中で、自分はどんな仕事や活動ができるのだろうかと考えている。	社会参画に関する教育 防災教育

	月(週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
	3月 (2)	【周りの人にありがとう】 B(7) 感謝 3 5 朝がくると	まど・みちおさんの詩や働く人々の写真などを通して、自分の生活を支えてくれる人々に伝えたいことを考えさせ、その人たちに尊敬と感謝の気持ちをもって接していこうとする実践意欲を育てる。	★わたしたちの生活をささえてくれている人々に伝えたいことは、何でしょう。 ①自分の毎日の暮らしを支えてくれている人は誰かを考え、発表する。 ②「朝がくると」を読み、「ぼく」は「ぼくが作ったのでもない」ものを作っている人に対して、どんなことを思ったかを話し合う。 ③「働くすがた」の写真を撮った小学生たちは、この人たちのことをどのように思っているのかを想像し、話し合う。 ④自分の暮らしを支えてくれている人々に伝えたいことを考え、発表する。 ▼これからも、自分の暮らしを支えてくれている人のことを思い出すことを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分たちの生活がさまざまな人々に支えられていることに気づき、尊敬と感謝の気持ちをもつことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の生活がどんな人たちに支えられているかを振り返り、その人たちへの思いを考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の生活を支えてくれていることに対する尊敬と感謝の対象を、直接的な人から間接的な人まで多様に考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 いつか自分も、人々や公共のために役に立つようになりたいと考えている。	国語科 社会科 共生 社会参画に関する教育
○「学習のまとめ」を振り返った評価(1～3月) ここまでで学んだ、【D(20)感動、畏敬の念】【A(2)正直、誠実】【A(4)個性の伸長】【C(17)国際理解、国際親善】【D(18)生命の尊さ】【C(14)家族愛、家庭生活の充実】【C(13)勤労、公共の精神】【B(7)感謝】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
○「後期」を振り返った評価(10月3週目～3月) ここまでで学んだ、【C(16)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C(13)勤労、公共の精神】【A(1)善悪の判断、自律、自由と責任】【C(11)規則の尊重】【B(9)友情、信頼】【D(18)生命の尊さ】【A(5)希望と勇気、努力と強い意志】【C(12)公正、公平、社会正義】【B(6)親切、思いやり】【D(20)感動、畏敬の念】【A(2)正直、誠実】【A(4)個性の伸長】【C(17)国際理解、国際親善】【D(18)生命の尊さ】【C(14)家族愛、家庭生活の充実】【C(13)勤労、公共の精神】【B(7)感謝】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						